



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月1日

上場会社名 株式会社ダイセル
コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小河 義美
問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	103,884	△10.1	9,168	△37.7	9,490	△43.0	5,322	△48.9
2019年3月期第1四半期	115,522	2.9	14,716	△6.6	16,646	0.3	10,409	14.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4,533百万円 (△60.4%) 2019年3月期第1四半期 11,442百万円 (△7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.29	—
2019年3月期第1四半期	30.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	636,888	416,316	61.0	1,195.04
2019年3月期	654,791	423,243	60.1	1,198.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 388,567百万円 2019年3月期 393,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	226,000	△3.9	20,000	△32.2	20,500	△36.4	10,500	△53.1	31.98
通期	461,000	△0.8	43,000	△16.0	45,000	△15.8	26,500	△24.9	80.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	331,942,682 株	2019年3月期	331,942,682 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	6,791,708 株	2019年3月期	3,609,174 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	326,697,103 株	2019年3月期1Q	338,703,182 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、中国で景気の緩やかな減速がみられたものの、米国を中心に景気の回復が続きました。日本経済においては、輸出や生産の弱さがみられるものの、景気は緩やかな回復が続きました。一方、米中貿易摩擦の深刻化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,038億84百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益91億68百万円（同37.7%減）、経常利益94億90百万円（同43.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益53億22百万円（同48.9%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、たばこフィルター用途の販売数量が減少し、減収となりました。

たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客でのシェア拡大や新規顧客開拓に取り組んだことにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

当部門の売上高は、181億72百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は、酢酸セルロースの販売数量の減少などにより、33億1百万円（同15.0%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、市況の下落により、減収となりました。

合成品は、販売数量は前年並みで推移したものの、酢酸市況の下落に伴い、酢酸誘導品の販売価格が低下したことにより、減収となりました。

機能品は、一部製品の販売数量が増加したものの、全体としては、中国の景気減速の影響などにより、減収となりました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、新規事業は順調に伸びたものの、充填剤の販売が減少したことにより、減収となりました。

当部門の売上高は、206億67百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は、製品市況の下落などにより、33億13百万円（同13.2%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、中国の景気減速による自動車、スマートフォンなどの需要低迷の影響により、減収となりました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、中国の景気減速の影響などにより、販売数量が減少し、減収となりました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主に高機能フィルムの販売が増加したものの、シートなどの販売が減少したことにより、減収となりました。

当部門の売上高は、413億93百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は、53億円（同10.4%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などの自動車安全部品事業は、インフレータの販売数量の減少により、減収となりました。

防衛関連製品などの特機事業は、販売数量の増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、213億98百万円（前年同期比21.7%減）、営業利益は、自動車エアバッグ用インフレータの販売数量の減少などにより、12億94百万円（同74.0%減）となりました。

[その他部門]

その他部門は、前年度に買収した海外の製剤事業会社が寄与したことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、22億52百万円（前年同期比57.0%増）、営業利益は、のれん償却負担の増加などにより、39百万円（同66.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産は、有形固定資産等の増加がありましたが、現金及び預金等の減少により、前連結会計年度末に比し179億3百万円減少し、6,368億88百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金等の減少により、前連結会計年度末に比し109億75百万円減少し、2,205億72百万円となりました。

また純資産は、4,163億16百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,885億67百万円となり自己資本比率は61.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、業績予想に対して、中国での想定以上の景気減速の影響などにより、売上高は下回ったものの、さらなるコストダウンに取り組み、営業利益はほぼ想定どおりの進捗となりました。今後も中国の景気減速の影響などに伴い、自動車、電子材料向けなどへの販売動向は不透明ではありますが、引き続きコストダウンなどに鋭意取り組んでまいります。

2019年5月9日公表の2020年3月期第2四半期累計期間および通期の業績予想は変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	114,044	98,249
受取手形及び売掛金	90,173	84,338
有価証券	6,230	187
たな卸資産	126,153	125,466
その他	17,504	16,918
貸倒引当金	△67	△89
流動資産合計	354,038	325,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,387	61,603
機械装置及び運搬具(純額)	72,920	72,237
土地	26,931	29,019
建設仮勘定	31,630	41,189
その他(純額)	5,561	5,455
有形固定資産合計	197,432	209,505
無形固定資産		
のれん	3,832	3,563
その他	8,835	8,762
無形固定資産合計	12,668	12,326
投資その他の資産		
投資有価証券	68,018	70,233
その他	22,802	19,898
貸倒引当金	△167	△146
投資その他の資産合計	90,652	89,985
固定資産合計	300,753	311,817
資産合計	654,791	636,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,933	46,821
短期借入金	9,965	6,759
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,285	8,664
未払法人税等	4,008	2,055
修繕引当金	2,828	1,131
その他	36,487	38,097
流動負債合計	125,509	113,530
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	36,043	35,121
繰延税金負債	7,673	9,451
役員退職慰労引当金	55	58
修繕引当金	13	—
環境対策引当金	5,265	5,265
退職給付に係る負債	12,430	11,081
資産除去債務	1,256	1,239
その他	3,298	4,822
固定負債合計	106,038	107,042
負債合計	231,547	220,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,692	31,692
利益剰余金	294,149	294,218
自己株式	△4,344	△7,881
株主資本合計	357,772	354,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,024	30,712
繰延ヘッジ損益	13	△26
為替換算調整勘定	4,968	1,280
退職給付に係る調整累計額	1,817	2,297
その他の包括利益累計額合計	35,825	34,263
非支配株主持分	29,645	27,748
純資産合計	423,243	416,316
負債純資産合計	654,791	636,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	115,522	103,884
売上原価	81,145	74,565
売上総利益	34,377	29,319
販売費及び一般管理費	19,660	20,150
営業利益	14,716	9,168
営業外収益		
受取利息	82	116
受取配当金	572	582
持分法による投資利益	478	496
為替差益	524	—
その他	845	411
営業外収益合計	2,504	1,607
営業外費用		
支払利息	301	341
為替差損	—	679
その他	272	264
営業外費用合計	574	1,285
経常利益	16,646	9,490
特別利益		
固定資産処分益	5	15
投資有価証券売却益	183	—
特別利益合計	189	15
特別損失		
固定資産除却損	241	271
特別損失合計	241	271
税金等調整前四半期純利益	16,595	9,234
法人税、住民税及び事業税	3,966	774
法人税等調整額	192	1,381
法人税等合計	4,159	2,155
四半期純利益	12,435	7,078
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,026	1,756
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,409	5,322

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	12,435	7,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△875	1,658
繰延ヘッジ損益	29	△69
為替換算調整勘定	△60	△4,283
退職給付に係る調整額	11	492
持分法適用会社に対する持分相当額	△98	△342
その他の包括利益合計	△993	△2,544
四半期包括利益	11,442	4,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,320	3,760
非支配株主に係る四半期包括利益	2,122	772

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,906	22,713	44,138	27,328	114,087	1,434	115,522	—	115,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	589	4,395	4	—	4,989	2,694	7,683	△7,683	—
計	20,496	27,109	44,143	27,328	119,077	4,129	123,206	△7,683	115,522
セグメント利益	3,884	3,816	5,918	4,980	18,600	116	18,717	△4,000	14,716

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,000百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,172	20,667	41,393	21,398	101,631	2,252	103,884	—	103,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	406	4,056	2	—	4,465	2,790	7,255	△7,255	—
計	18,579	24,723	41,395	21,398	106,097	5,042	111,140	△7,255	103,884
セグメント利益	3,301	3,313	5,300	1,294	13,209	39	13,248	△4,080	9,168

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,080百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。